

学長
関西外国語大学
谷本義高



御殿山キャンパス・グローバルタウン
構想が始動。中宮キャンパスと共に
国際色豊かな一大交流拠点へ

【国】 際人の育成と実学重視を建学の理念として掲げてきた関西外国語大学は、創立当初からグローバル人材を輩出するための教育を行ってきたと自負しています。言語を修得し、外国語を日本語に変換できる能力を有するだけではグローバル人材とは言えません。他の民族や歴史、文化に対する深い理解や寛容性を有していること、さらには、多様な人々と理解しあえるコミュニケーション力、交渉によって解決方法を探るネゴシエーション力、ものごとを前向きに推進できるファシリテーション力などを備えて初めてグローバル人材と言えると考えています。

こうした建学の理念を具現化する

ため、本学ではこれまで世界54カ国・地域の383大学と協定を結ぶなど留学制度の拡充に努めてきました。これをさらに具現化する改革の柱が、「グローバルタウン構想」です。中宮キャンパスから400メートルほどの敷地に、2018年4月、新たに御殿山キャンパス・グローバルタウンを開設。現在、学研都市キャンパスにある英語国際学部を移したうえで、中宮キャンパスの既存学部と一体的に運営し、国際色豊かな交流拠点とする予定です。新しいキャンパスには、欧米を中心とした約40カ国から集う外国人留学生と関西大の学生あわせて約700人が混住する「Global Commons 結々」を設置する予定です。キャンパ

ス内は、低層の小教室群が建ち並ぶ学びのエリアのほか、芝生に寝そべりながら異文化交流ができる中央広場、野外学習も可能な図書館&円形ステージなど、5つの異なる雰囲気「街」で構成され「学・食・住」すべてが揃う、世界の縮図のようなキャンパスになる予定です。

このような恵まれた学習環境のなかで最高の教育を提供したいというのが教職員の共通した思いです。というのも、本学では年間約2200人の学生を海外に送り出すため、学生が留学先で苦勞しないよう、低学年次から徹底的に鍛えることに力を注いでいます。宿題の量も年々増え、学生からは恨み節も聞こえてきますが、留学先から戻ると一転、それは先生方への感謝の言葉に変わります。

実際、成長ぶりは明らかです。誰も助けられない環境で学び、生活し、単位を取得して戻ってくる。そうやってチャレンジし、自分の殻を破った経験は、かけがえない財産です。卒業後、どのような職場で働くにしても、これまで常識とされてきたことに疑問を抱き、いい方向に変えていく力や気概をもった人材に育ってほしいと常に願っています。

【学長プロフィール】たにもと・よしとか●1966年生まれ。同志社大学法学部卒業。同大学院法学研究科公法学専攻博士課程(後期)単位取得後退学。92年から関西外国語大学外国語学部講師。助教授、教授を経て2007年4月より現職。

【大学プロフィール】1945年谷本英学院創立。66年関西外国語大学開設。英語キャリア学部(英語キャリア学科、英語キャリア学科小学校教員コース)、外国語学部(英米語学科、スペイン語学科)、英語国際学部(英語国際学科)、短期大学部(英米語学科)。